

いきいきかんざき 市民発の地域づくり紹介



各種イベントの準備をするスタッフ

【CSOかんざき】

地域で活動する団体をサポートする中間支援組織として、2006年に設立。「特に地縁的活動に力を入れたい」という事務局長の吉原俊樹さん。

旧神埼郵便局舎で三丁目公民館の1階に活動拠点の「神幸館（かみさちかん）」を翌年3月にオープン。市民活動の支援やネットワーキング

「地縁」を大切に市民活動支援

に取り組んでいます。地縁的活動を重視するのは、半永久的なつながりがあり、地域にとつて不可欠なものという考えからだそうです。夏祭りとしてすっかり定着した「長崎街道かんざき宿場まつり」の実行委員会事務局も務め、出演団体のとりまとめや企画、運営にあたっていきます。2年前には「足元を見つめ直す見聞ツアー」を実施。NPO団体との交流や、あまり知られていない史跡や観光資源の再発見に努めました。

また、市民団体にとっては、事務的作業や運営のノウハウ習得が大きな負担。このため活動が低調になり、目的が果たせないケースもあります。「その悩みを肩代わりするのも私たちの役目」と吉原さん。

神幸館の利用も年々増えており、昨年度は4千人を超え、事務受託団体も10団体近くになりました。

2月5、6日には地域づくり団体全国研修交流会が佐賀県で開催されます。CSOかんざきも、吉野ヶ里町のさざんか塾とともに、分科会のホスト役を担うことになり、代表の境和臣さんが実行委員長を

務めます。全国各地で地域づくりに取り組んでいる人同士、熱い交流が期待されます。

また、3月7日に「第2回地域人づくり・街づくりサミット」を開催。市歴史文化遺産を活かしたまちづくり協議会の主催で同時開催される「かんざき夢資源 まちづくりシンポジウム」の実施主体にもなっていて、準備に忙しい日々です。



「足元を見つめ直す見聞ツアー」で柳田宮の執行宮司から話を聞く参加者

一人ひとりが生き生きと暮らす元気な神埼を。市民の立場で、住みよいふるさとづくりに取り組んでいる団体をシリーズで紹介していきます。



代表の境和臣さん

「CSO」はCivil Society Organization(市民社会組織)の略。役員は長崎街道沿いの自治会のメンバーで構成。住民の自発的な活動や組織の支援を基本に、地縁的活動に力を入れている。

CSOかんざき 代表 境 和臣
神崎市神埼町神埼463-1 TEL0952-20-2510

